



FMV- 611GSL7e/610GSL7e/610GSL7/ 6866SL7/6766SL7c

ハードウェアガイド・ダイジェスト

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

はじめに	3
添付のマニュアルについて	3
製品の呼びかた	3
FMV マニュアルの参照	3
各部の名称と働き	4
パソコン本体前面	4
パソコン本体背面	5
設置について	6
設置する場所	6
フットを取り付ける	6
設置例	7
接続について	8
ディスプレイ／キーボード／マウス／LAN ケーブルを接続する	8
電源ケーブルを接続する	9
電源を入れる	10
注意事項	10
電源の入れかた	10
電源を切る	11
注意事項	11
電源の切りかた	11
ディスプレイの交換	12
画面に何も表示されないときは	13
BIOS をご購入時の設定に戻す	13
BIOS が表示するメッセージ一覧	14
メッセージが表示されたときは	14
メッセージ一覧	14

安全にお使いいただくために

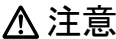
このマニュアルには、本パソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本パソコンをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本パソコンをお使いください。
また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について




本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。
--	--

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

はじめに

添付のマニュアルについて

- 本パソコンには、次のマニュアルが添付されています。
- はじめにお読みください
梱包物一覧、および最初に行う操作などを説明しています。
 - ハードウェアガイド・ダイジェスト（本書）
パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。
なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。
 - ソフトウェアガイド・ダイジェスト
Windows のセットアップ方法、リカバリ方法など、『ソフトウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。
なお、お使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。
 - FMV マニュアル（※▶ P.3）
PDF 形式のファイルとして、「ドライバーズ CD / マニュアル CD」に収録しています。
『ハードウェアガイド』や『ソフトウェアガイド』など、本パソコンの使いかたを説明したマニュアルを用意しています。状況に応じてご覧ください。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows 98	
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows 95	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT	
ドライバーズ CD / マニュアル CD	ドライバーズ CD	

FMV マニュアルの参照

本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』と『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「ドライバーズ CD」内の「FMV マニュアル」(Manual.pdf) からご覧になれます。

重要

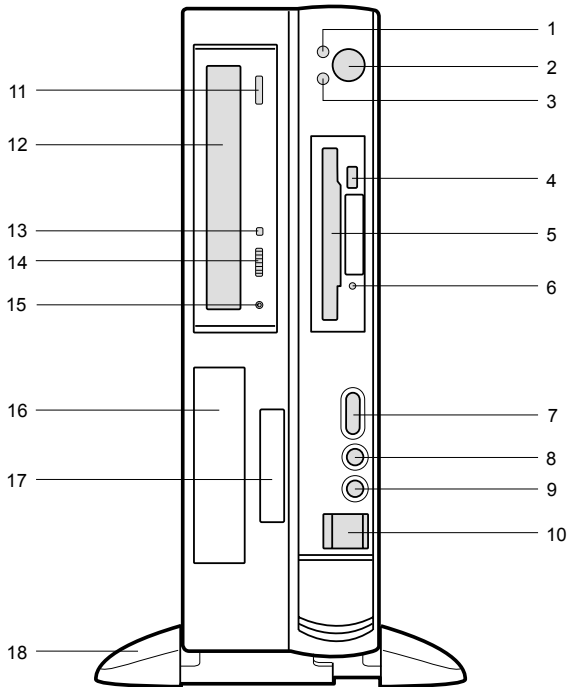
- ▶ 周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。
 - ▶ 「FMV マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「ドライバーズ CD」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。
- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
 - 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
 - 3 CD-ROM のドライブアイコンをダブルクリックし、「Manual.pdf」をダブルクリックします。
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。
 - 4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

重要

- ▶ CD-ROM ドライブを搭載していない装置の場合は、他の装置で参照するか、ネットワーク上の共有ドライブで参照してください。

各部の名称と働き

パソコン本体前面



1 電源ランプ

パソコン本体に電源が入っているときに点灯します。
動作しているときは緑色に、スタンバイ状態（省電力状態）のときはオレンジ色に点灯します。

2 電源スイッチ

パソコン本体の電源を入れるときや切るとき、スタンバイ状態にするときに押します。

3 ハードディスクアクセス表示ランプ

ハードディスクにデータを書き込んだり、ハードディスクからデータを読み出したりしているときに点灯します。

4 フロッピーディスク取り出しボタン

フロッピーディスクを取り出すときに押します。
フロッピーディスクアクセス表示ランプが点灯しているときは、押さないでください。

5 フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクをセットしてデータを書き込んだり、読み出したりします。

6 フロッピーディスクアクセス表示ランプ

フロッピーディスクにデータを書き込んだり、フロッピーディスクからデータを読み出したりしているときに点灯します。

7 音量ボリューム

スピーカー、ヘッドホンの音量を調節します。
音量を大きくするときには上に、小さくするときには下に回します。

8 ヘッドホン端子

パソコンから出力される音や音楽 CD を聴くときに、市販のヘッドホンを接続します。

9 マイク端子

市販のコンデンサマイクを接続します。

10 USB コネクタ

FMV-611GSL7e/610GSL7cは1個、FMV-610GSL7/6866SL7/6766SL7cは2個あります。

カバーを左にスライドさせて、USB 規格の機器を接続します。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

11 EJECT ボタン

CD-ROMや音楽CDをセットするときや取り出すときに押します。パソコン本体の電源が入っているときにお使いになれます。BUSY ランプが点灯しているときは、押さないでください。

12 CD-ROM ドライブ

CD-ROM のデータやプログラムを読み出したり、音楽 CD を再生したりします。

13 BUSY ランプ

CD-ROMからデータを読み込んでいるときや音楽CDを再生しているときに点灯します。

14 ヘッドホンボリューム（音楽 CD のみ）

ヘッドホンを接続したときに、音量を調節します。

15 ヘッドホン端子（音楽 CD のみ）

市販のヘッドホンで音楽 CD を聴くときに、ヘッドホンに接続します。

16 フロントアクセスベイ

3.5 インチの内蔵オプションを取り付けます。

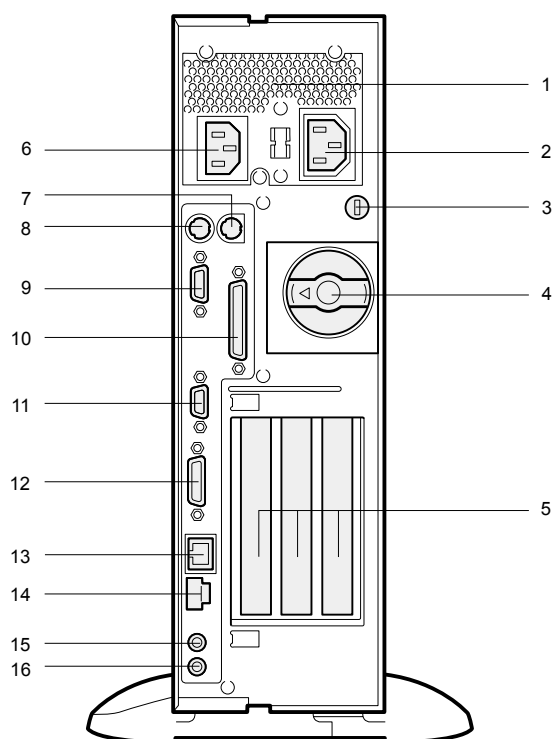
17 スマートカードベイ

カスタムメイドオプションのスマートカードリーダー／ライターを取り付けます。

18 フット

本パソコンをお使いになるときに取り付ける台座です。
縦置きするときには、転倒防止となります。

パソコン本体背面



1 通風孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすための開孔部です。

2 アウトレット

ディスプレイの電源ケーブルを接続します。

3 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

POINT

▶ 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

商品名：マイクロセーバー（セキュリティワイヤー）、

商品番号：0522010

（富士通コワーコ取り扱い品：☎03-3342-5375）

4 アッパーノブ

アッパーカバーをロックします。

5 拡張カードスロット

本パソコンの機能を拡張する各種拡張カードを取り付けます。

PCI カードを取り付けることができます。

6 インレット

パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

7 マウスコネクタ

マウスを接続します。

8 キーボードコネクタ

キーボードを接続します。

9 シリアルコネクタ

RS-232C 規格に対応した機器のケーブルを接続します。

10 パラレルコネクタ

プリンタやスキャナなどのケーブルを接続します。

11 CRT コネクタ

アナログ RGB 規格のディスプレイケーブルを接続します。

12 DVI コネクタ

DVI 規格のディスプレイケーブルを接続します。

13 LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

14 USB コネクタ

FMV-611GSL7e/610GSL7eは1個、FMV-610GSL7/6866SL7/6766SL7c は2個あります。

USB 規格の機器を接続します。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

15 LINE IN 端子

サウンド入力用端子。オーディオ機器の出力端子を接続します。

16 LINE OUT 端子

サウンド出力用端子。オーディオ機器の入力端子を接続します。

スピーカーを直接接続する場合は、アンプ機能内蔵のものをお使いください。

設置について

設置する場所

本パソコンを設置する場合は、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 10℃未満の低温になる場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足に引っかかる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所

フットを取り付ける

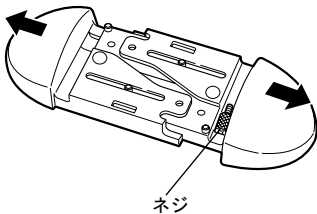
■縦置き

□フットを2つ使う場合（ダブル）

本パソコンを壁などに接しないで縦置きする場合、次の手順で取り付けてください。

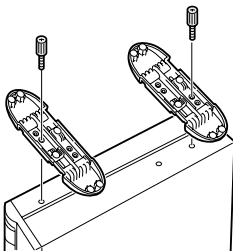
1 フットを、パソコン本体の幅に合わせます。

幅に合わせる際、フットについているネジを取り外します。



2 パソコン本体にフットを取り付けます。

フット背面にあるネジ穴に、ネジで固定します（1ヶ所）。ネジは、手順1で取り外したものを 사용합니다。

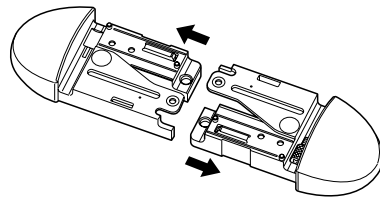


□フットを1つ使う場合（シングル）

本パソコンを壁などに接して縦置きする場合、次の手順で取り付けてください。

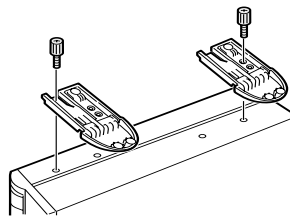
1 フットを分解します。

分解する際、フットについているネジを取り外します。



2 パソコン本体に分解したフットを取り付けます。

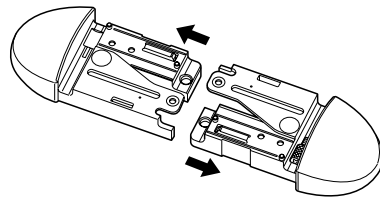
フット背面にあるネジ穴に、ネジで固定します（1ヶ所）。ネジは、手順1で取り外したものを 사용합니다。



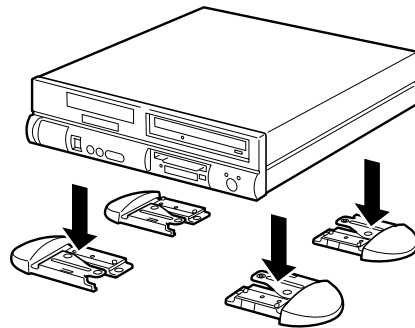
■横置き

1 フットを分解します。

分解する際、フットについているネジを取り外します。取り外したネジは、大切に保管しておいてください。

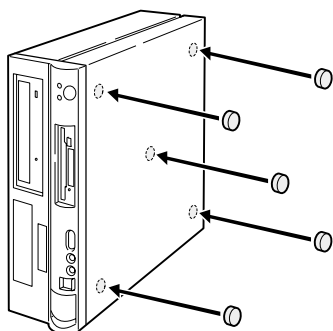


2 分解したフットの上にパソコン本体を載せます。



POINT

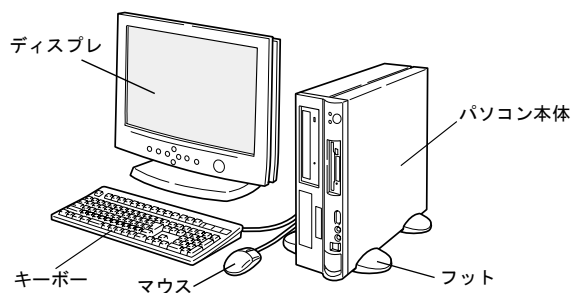
- ▶ 横置きする場合、パソコン本体の 4 隅と中央に添付のゴム足 (5 個) を取り付けて設置することもできます。ゴム足を取り付ける場合、縦置きするときのフットに接触しない位置に取り付けてください。パソコン本体のゴム足を取り付ける部分は、ほこりなどをふきとってから取り付けてください。ゴム足を取り付けたあとにパソコン本体を移動する場合、ゴム足をひきずらないでください。



設置例

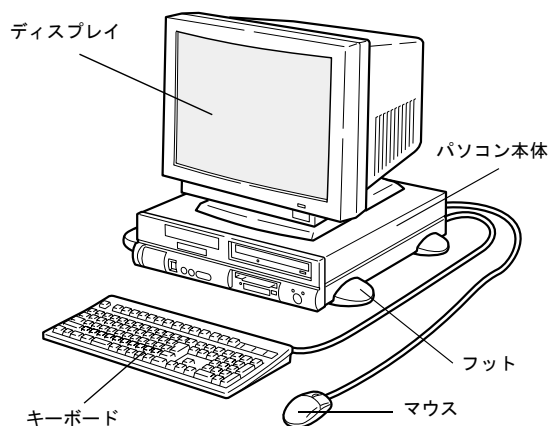
本パソコンは次のように設置してください。
パソコン本体は次の図のように縦置き、または横置きにすることができます。設置の際は、パソコン本体背面にある通風孔をふさがないように注意してください。

■縦置き



■横置き

17 型以下 (ただし、19kg 以下) のディスプレイのみパソコン本体の上に載せることができます。



POINT

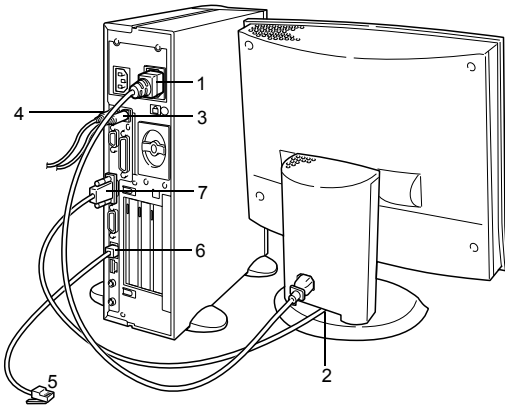
- ▶ これ以降の記述については、縦置きを前提としていません。横置きにする場合は、読みかえてください。

接続について

ディスプレイ／キーボード／マウス／ LAN ケーブルを接続する

POINT

- ▶ LAN ケーブルは、別売のツイストペアケーブルをご購入のうえ、お使いください。



1 電源ケーブルをアウトレットに接続します。

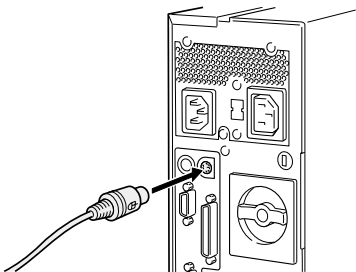
添付の電源ケーブル（ディスプレイ用）の片方のプラグを、パソコン本体のアウトレットに接続します。

2 電源ケーブルをディスプレイに接続します。

添付の電源ケーブル（ディスプレイ用）の片方のプラグを、ディスプレイ背面のインレットに接続します。

3 マウスを接続します。

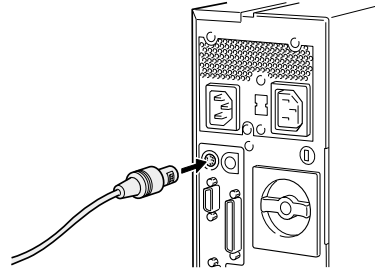
マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、マウスコネクタの色とパソコン本体背面のマウスラベルの色が合うように接続します。



4 キーボードを接続します。

キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、キーボードコネクタの色とパソコン

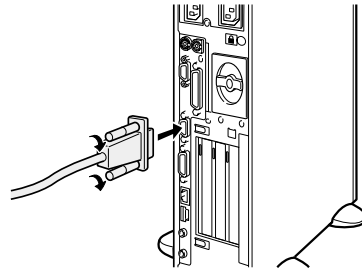
コン本体背面のキーボードラベルの色が合うように接続します。



5 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。

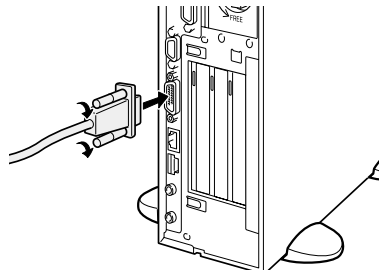
ケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のディスプレイコネクタに接続して、ケーブルのコネクタのネジを締めます。

- ・ CRT コネクタに接続する



- ・ DVI コネクタに接続する

接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。



6 LAN ケーブルを接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタを、ハブユニットなどのネットワークのコネクタに接続します。

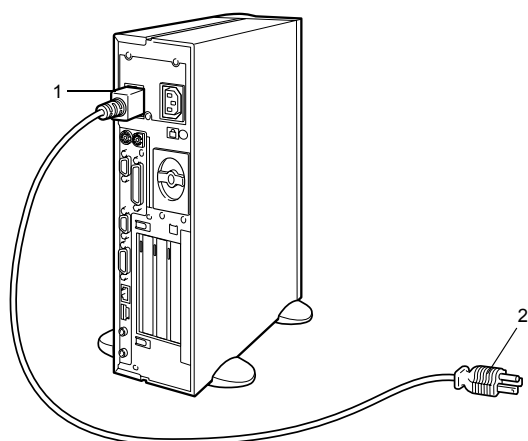
7 LAN ケーブルをネットワークに接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタをパソコン本体背面の LAN コネクタに接続します。

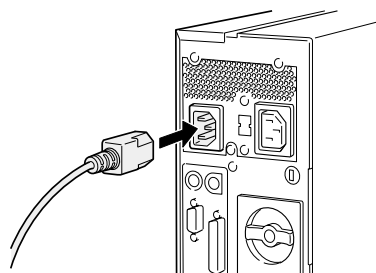
電源ケーブルを接続する

ディスプレイなどの周辺装置を接続したら、次の点に注意して電源ケーブルを接続してください。

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
- 重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。
- 電源ケーブルやプラグが傷んだときやコンセントの差し込み口がゆるいときは、お使いにならないでください。
- プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、かわいた布でよく拭いてください。
- 電源ケーブルは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。
- 電源ケーブルは、タコ足配線をしないでください。また、キーボードケーブルやマウスケーブルとからまないようにしてください。
- 近くで雷が起きたときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 2 ピンのコンセントに接続する場合は、添付のアダプタプラグをお使いになり、必ずアース線を接続してください。
- プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。
- プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 長期間お使いにならないときは、安全のため必ずプラグをコンセントから抜いてください。

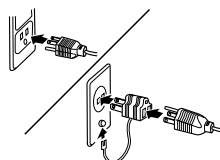


- 1 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。



- 2 電源ケーブルのプラグをコンセント（AC100V）に接続します。

片方のプラグを、コンセントに接続します。コンセントが2 ピンの場合は、添付のアダプタプラグを取り付けてから、コンセントに接続します。
アダプタプラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めします。



電源を入れる

注意事項

- 電源ランプは、スタンバイ状態になるとオレンジ色に点灯します。
- パソコン本体の電源を入れる前に、必ずディスプレイが接続されていることを確認してください。ディスプレイを接続しないでパソコン本体の電源を入れると、ディスプレイが認識されず、画面が正常に表示されない場合があります。この場合、アナログディスプレイをお使いの方は、アナログディスプレイを接続して OS を終了させてから電源を切り、そのあと電源を入れ直してください。
- デジタルディスプレイを直接コンセントに接続してお使いになる場合、パソコン本体の電源を入れる前に、必ずデジタルディスプレイの電源が入っていることを確認してください。パソコン本体の電源を入れた後にデジタルディスプレイの電源を入れた場合、画面は表示されません。この場合、パソコン本体の電源を切り、そのあと電源を入れ直してください。
- ディスプレイの電源ケーブルを本パソコンに接続している場合、ディスプレイの電源は本パソコンの電源と連動して入ります。そのため、ディスプレイの電源スイッチは一度押しておけば、以後操作する必要はありません。次回からは手順2の本体の電源スイッチを押すだけで電源が入ります。
- 画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。
- 電源を入れたあとすぐに電源を切る場合は、OS が起動してから「電源を切る」(▶▶ P.11)に従って電源を切ってください。
- 画面表示の開始や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れたり、横線が見える場合があります (Windows の起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など)。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 電源を入れたあと、ディスプレイに FUJITSU ロゴが表示されている間に、本パソコンは、パソコン内部の装置をチェックする「POST (ポスト: Power On Self Test)」を行います。POST 中は電源を切らないでください。POST の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては「BIOS が表示するメッセージ一覧」(▶▶ P.14)をご覧ください。
- システム起動時 (開封契約時を含む) やシステム終了時、または Virus Scan のウィンドウが表示される瞬間に、一瞬帯状に画面が乱れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

- 周辺機器の取り付けなどのとき、アッパーカバーを取り外したまま電源を入れないでください。
- 電源を切ったあとすぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。

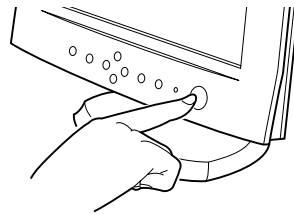
電源の入れかた

⚠ 注意

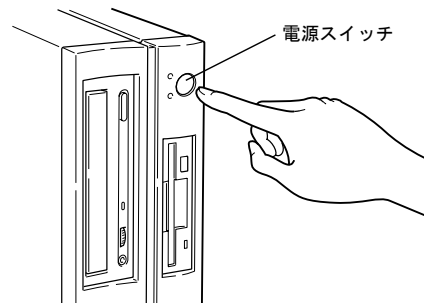


- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

- 1 ディスプレイの電源スイッチを押します。
この時点では、画面に何も表示されません。



- 2 本体の電源スイッチを押します。
ディスプレイと本体の電源ランプが緑色に点灯します。電源が入ると、ディスプレイに FUJITSU ロゴが表示され、その後システムが起動します。



電源を入れたあとは、Windows のセットアップを行います (▶▶『ソフトウェアガイド・ダイジェスト』参照)。

電源を切る

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、フロッピーディスクやハードディスクのアクセス表示ランプ（▶▶ P.4）が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- 電源が入っている状態で、電源ケーブルをコンセントから抜いたり、停電によって電源が切断された場合は、再び電源ケーブルをコンセントに差し込むか、復電するのを待ってください。電源スイッチを押す必要はありません。復電すると自動的に電源が入り、本パソコンが起動されます。ただし、BIOS セットアップの「省電力設定」－「AC 通電再開時の動作」（▶▶『ハードウェアガイド』参照）が「電源オフ」に設定されている場合、電源が入りません。
- Windows 95 は、BIOS セットアップの「APM による省電力管理」を「使用しない」に設定すると、電源が自動的に切れません（▶▶『ハードウェアガイド』参照）。
- POST（自己診断）時に電源を切らないでください。OS が完全に起動されてから、後述の手順で切ってください。
- 通常的手段で電源が切れなかった場合や再起動できなかった場合、4 秒以上電源スイッチを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源スイッチを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。

電源の切りかた

■Windows Me の場合

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。
「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「終了」を選択し、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「プログラムの強制終了」ダイアログボックスが表示されます。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

■Windows 98 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。
「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「電源を切れる状態にする」をクリックし、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「プログラムの強制終了」ダイアログボックスが表示されます。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

■Windows 95 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。
「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「コンピュータの電源を切れる状態にする」をクリックし、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「プログラムの強制終了」ダイアログボックスが表示されます。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

■Windows 2000 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。
 2. 「シャットダウン」をクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

■Windows NT の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「コンピュータをシャットダウンする」をクリックし、「はい」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

POINT

▶ 次のように電源を切ることもできます。

1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows NT のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「シャットダウン」をクリックします。
「コンピュータのシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「シャットダウン後、電源を切る」をクリックし、「OK」をクリックします。
電源が自動的に切れます。

ディスプレイの交換

仕様の異なるディスプレイ（特に液晶ディスプレイ）に交換する場合、画面が表示されないなどの表示異常が発生することがあります。その場合、次の手順でディスプレイを交換してください。

■Windows Me/98/95 モデルの場合

- 1 解像度を 640 × 480 に設定します（ディスプレイ交換前）。
- 2 リフレッシュレートを「アダプタの既定値」または「アダプタの標準」に設定します。
- 3 Windows を終了させてパソコン本体の電源を切り、ディスプレイを交換します。

上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でディスプレイドライバを再インストールしてください。

- 1 Windows を Safe モードで起動します。
- 2 グラフィックアダプタを「標準ディスプレイアダプタ（VGA）」または「標準 VGA」に設定して、再起動します。
- 3 ディスプレイドライバを再インストールします。

■Windows 2000 モデルの場合

- 1 解像度を 640 × 480、色数を 256 色にします。
- 2 リフレッシュレートを 60Hz に設定します。
- 3 Windows を終了させてパソコン本体の電源を切り、ディスプレイを交換します。

上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でディスプレイドライバを再インストールしてください。

- 1 Windows を「VGA モードを有効にする」で起動します。
- 2 ディスプレイドライバを再インストールします。

■Windows NT モデルの場合

- 1 パソコンの電源を切り、ディスプレイを交換します。
- 2 Windows NT Workstation Version4.00 [VGA mode] で起動します。
- 3 ディスプレイの仕様に合わせて解像度、色数、リフレッシュレートを設定し、再起動します。

画面に何も表示されないときは

画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。

- ディスプレイの電源スイッチは入っていますか。

- 省電力モードが設定されていませんか。

マウスを動かすか、どれかキーを押してください。電源ランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源スイッチを押してください。電源スイッチを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源スイッチを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。

- ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか。

- ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか。

⚠ 注意



- ケーブルは、必ず電源を切ってから接続し直してください。感電の原因になります。

- ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは正しく接続されていますか。

ブライトネス／コントラストボリュームで画面を調節してください。

- メモリ等の増設したユニットは、正しく搭載されていますか。

BIOS をご購入時の設定に戻す

「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行したあとに、下記の設定を変更してください。

なお、下記の場合以外は、設定変更する必要はありません。

POINT

- ▶ FMV-610GSL7/6866SL7/6766SL7c をお使いの場合、BIOS セットアップが英語で表示されることがあります。その場合、「メイン (Main)」メニューの「言語 (Language)」を「日本語 (JP)」に設定してください。

●Windows 95 の場合

「詳細」－「その他の内蔵デバイス設定」－「サウンドコントロール」：使用しない

●Windows 2000 の場合

- ・「詳細」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ
- ・「省電力」－「省電力モード」：ユーザー設定 (FMV-610GSL7/6866SL7/6766SL7c)

●Windows NT の場合

- ・「詳細」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ
- ・「省電力」－「省電力モード」：ユーザー設定
- ・「省電力」－「省電力モード」－「ハードディスク省電力」：15 分
- ・「省電力」－「省電力モード」－「ディスプレイ省電力」：30 分

●IDE-RAID モデル (2000) の場合

- ・「詳細」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ
- ・「省電力」－「ACPI 設定」－「スタンバイモード」：標準

●IDE-RAID モデル (NT) の場合

- ・「詳細」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ
- ・「省電力」－「省電力モード」：ユーザー設定
- ・「省電力」－「省電力モード」－「ディスプレイ省電力」：30 分

●セキュリティ LAN 搭載モデルの場合

- ・「詳細」－「その他の内蔵デバイス設定」－「LAN コントローラ」：使用しない

BIOS が表示するメッセージ一覧

メッセージが表示されたときは

「メッセージ一覧」(●▶ P.14)に記載の処置や次の処置を行ってください。

●BIOS セットアップを実行する

BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップを再実行してください。

●周辺機器の取り付けを確認する

拡張カードなどを取り付けているときは、それらが正しく取り付けられているか確認してください。また、カードの割込みレベルなど正しく設定されているかどうか確認してください。このとき、拡張カードに添付のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合は、それらのマニュアルもあわせてご覧ください。

処置を実施しても、まだエラーメッセージが発生する場合は、本パソコンが故障している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

メッセージ一覧

本パソコンが表示するメッセージの一覧は、以下のとおりです。

●CPU ファンが異常です。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●NVRAM データが正しくありません。

システム情報が壊れています。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●システムメモリエラー。オフセットアドレス:xxxx

誤りビット: zzzz zzzz

システムメモリテスト中に、アドレス xxxx でエラーが発生しました。メモリを使っているときは、別のメモリと取り替えて再度確認してください。本メッセージが表示されなくなったときは、メモリの異常が考えられます。他のメモリと交換して再度確認してください。

●拡張メモリエラー。オフセットアドレス:xxxx

誤りビット: zzzz zzzz

増設メモリテスト中に、アドレス xxxx でエラーが発生しました。メモリが正しく取り付けられているか、または弊社純正品であるか確認してください。

●キーボードコントローラのエラーです。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●キーボードエラーです。

キーボードテストでエラーが発生しました。電源を切って、キーボードが正しく接続されているか確認し、10 秒以上待ってから電源を入れ直してください。

●フロッピーディスク A のエラーです。

フロッピーディスクドライブテストでエラーが発生しました。BIOS セットアップのメインメニューの「フロッピーディスク A」の項目が正しく設定されているか、フロッピーディスクドライブが正しく取り付けられているか、確認してください。

●ディスクのエラーです。: ハードディスク n

ハードディスクドライブの設定に誤りがあります。BIOS セットアップのメインメニューの「プライマリマスター」または「セカンダリマスター」の設定を確認してください。

●パスワードロックされています。: ハードディスク n

ハードディスクのセキュリティ機能が有効のままになっているため、ハードディスクが使えません。

●システムタイマーのエラーです。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●リアルタイムクロックのエラーです。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●システム CMOS のチェックサムが正しくありません。- 標準設定値が設定されました。

BIOS セットアップに入って各設定を確認して、再度保存してください。

●前回の起動が正常に完了しませんでした。- 標準設定値が設定されました。

前回、本パソコンを正しく起動することができなかったために、一部の設定を標準設定値で行いました。BIOS セットアップの内容を誤って設定して起動できなかったときや、起動途中で電源を切ったとき、3 回以上同じ操作で再起動させると、本メッセージが表示されます。そのまま再起動する場合は【F1】キーを、BIOS セットアップを起動して設定内容を確認する場合は【F2】キーを押してください。

●<F1> キーを押すと継続、<F2> キーを押すと BIOS セットアップを起動します。

POST 中にエラーが発生すると OS を起動する前に本メッセージを表示します。【F1】キーを押すと OS の起動を開始します。【F2】キーを押すと BIOS セットアップに入って、設定を変更することができます。

●日付と時刻の設定を確認してください。

「システム時刻」と「システム日付」の設定を確認してください。

● **リソース競合 - PCI デバイスの設定エラーです：スロット #xx**

バス :01, デバイス :xx, 機能 :xx

次のいずれかのエラーが発生しました。

- ・ 増設した拡張カードが、本パソコンと対応していない
- ・ 増設した拡張カードで、リソース競合が発生した
- ・ 増設した拡張カードに、故障が発生した

拡張カードが本パソコンに対応しているか、また拡張カードの取り付けや設定が正しく行われているか確認してください。

● **リソース競合 - PCIデバイスの設定エラーです:マザーボード上**

バス :01, デバイス :xx, 機能 :xx

マザーボード上のデバイスでリソース競合が発生しているか、マザーボード上のデバイスに故障が発生しました。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **Invalid system disk**

Replace the disk, and then press any key

フロッピーディスクドライブにシステム以外のフロッピーディスクをセットしたまま電源を入れると、表示されます。フロッピーディスクを取り出して何かキーを押してください。

● **Non - System disk or disk error**

Replace and press any key when ready

フロッピーディスクドライブにシステム以外のフロッピーディスクをセットしたまま電源を入れると、表示されます。フロッピーディスクを取り出して何かキーを押してください。

● **Operating system not found**

OSが見つかりませんでした。BIOS セットアップでドライブが正しく設定されているか、指定したドライブに OS が入っているかを確認してください。

● **PXE-E61:Media test failure, Check cable**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。LAN ケーブルが正しく接続されていません。LAN ケーブルを正しく接続してください。

● **PXE-E51:No DHCP or BOOTP offers received**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。起動時に必要な IP アドレスが取得できませんでした。DHCP サーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。

● **PXE-E53:No boot filename received**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。

● **PXE-E78:Could not locate boot server**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。

● **PXE-T01:File not foundPXE-E89:Could not download boot image**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバ上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。

● **PXE-E32:TFTP open timeout**

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ネットワークブートに失敗しました。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップで「ネットワークサーバからの起動」を「使用しない」に設定してください。

● **WRONG MEMORY:Serial Presence Detected (SPD) indicated xxxMHz Memory**

This system requires xxxMHz memory. Shut system down.
メモリがシステムバスクロックに適合していないときのエラーです。FMV-610GSL7/6866SL7 は 133MHz、FMV-6766SL7c は 100MHz のメモリにのみ適合します。電源を切ってから、システムバスクロックに適合するメモリに交換してください。

Microsoft、Windows、MS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001

このマニュアルは再生紙を使用しています。